



平成22年度上半期に、「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施します。無作為に選出された方へ市よりアンケートをお送り致しますので、届いた方は御協力よろしくお願いします。



薩摩川内市 男女共同参画フォーラム ワークショップ③

三世代「ほつと未来」PART II
薩摩川内市の
子育て支援を考える

川内はれっこ



男女共同参画社会の実現に向けて様々な活動をしている川内だけれど、昨年の「高齢者」に続き今年は「子育て」についてワークショップを開催しました。

ある育児サークルの二十代から四十代の母親に、子育て支援についてのアンケートをとりました。その結果、家庭の手助けとして最も望んでいるのは、「夫の支援」でした。そこで、夫の手助けはどういう状況にあるのか、薩摩川内市内の企業を対象に父親の育児休業取得実態調査をしたところ、公務員を除き、残念ながら利用されていなかったとの報告がありました。参加者から出た意見をいくつかご紹介します。

○職場の理解がまだまだで、子どもが病気で帰宅しにくい雰囲気がある。

○「遠くの身内より近くの他人」と言う言葉どおり、十年以上近所の人に子育てを託したことで、定年まで働くことができました。

○昔は、地域で子どもを育てるのが当たり前だったけどねえ。

○「うるさい」と言われても、地域の子育ての先輩として思いついて手や口を出そう。

○ファミリー・サポート・センターのまかせて会員ですが、なかなかお声がかかりません。料金が高いから利用しにくいのかしら。

現状としては、一人で子育てに専念せざるを得ないという母親が多いようですが、外との交わりを積極的に図ることが、大きな力となるようです。

中には、薩摩川内市内にある様々な育児サークルに一人でいくつも入会し、上手く利用している方もいるそうです。いろいろな参加して自分に合ったサークルを見つければ、楽しい出会いで子育ての悩みが解消するかもしれません。

市が運営するファミリー・サポート・センターは、子育ての手伝いをしてほしい会員と、まかせて会員が相互援助活動を行う会員組織です。前述のような育児サークルの一覧表も置いてあります。

ファミリー・サポート・センター

薩摩川内

電話 0996(22)5085

(月)～(金) 8時30分～17時15分

(土・日・祝日・年末年始を除く)

男女共同参画
フォーラム
アンケート
より

残り約10年の仕事のやり方にヒントをもらいました。他人を使う術・コミュニケーションの大切さ・個人情報の聞き方(他にもらさず)・マネジメントの大切さ等々、本当にためになりました。
50代男性

参加して良かった。講演は今後の生き方を変える内容であり、参考になった。ワークショップでは、子育てについて地域からの応援が大切だとわかりました。
60代男性

法律等は知っている部分もありましたが、実際のところたくさんの方が知らなかったり、活用されていなかったりしているのが現状だと感じました。割と今の世間は「出産・育児」に関心が集まりがちですが、介護もこれから内容を充実させる必要があると思います。育児・介護にも、もっと参加したいと思っている男性もいると思うので、みんなで考える必要があると思います。
30代女性

仕事を抱えて家庭もやっていくとなるととても1人ではやっていけない。主人にも協力を求めると会社を休んでもやってくれる。しかし、会社側では“そういう人材は不要だ”という考えでリストラの対象となってしまう。現実には何もかも女性が、抱えていかななくてはならない。少しでもいい方向へ向かっていく様な社会になればいいと思います。
40代女性

***** 次年度も12月初旬に開催予定の男女共同参画フォーラム。お楽しみに! *****

この情報紙に関するご意見、ご感想、取り上げて欲しいことなどありましたら、下記までご連絡ください。

編集 男女共同参画情報紙「とらいあんぐる」編集員会

発行 〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号 薩摩川内市役所 企画政策部 コミュニティ課 男女共同参画グループ
TEL 23-5111 (内線4613) FAX 20-5570 Eメール: sho-gender@city.satsumasendai.lg.jp